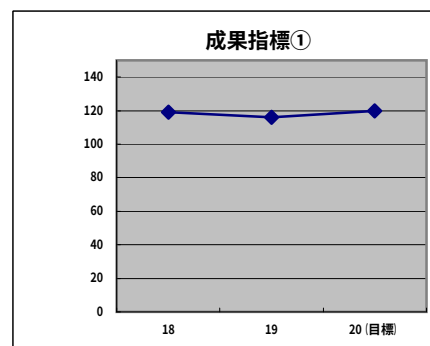
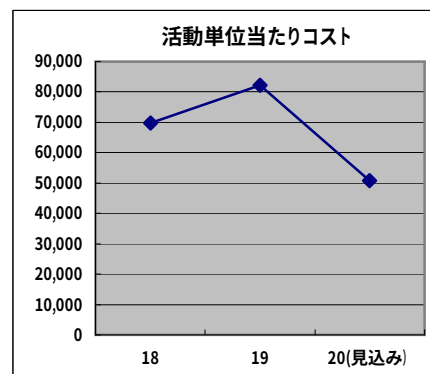


事務事業名		ゲートボール協会関係業務		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	10	教育費	
					項	6	保健体育課	
					目	1	保健体育総務費	
					事業	2	体育振興	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち	作成部署				教育委員会事務局生涯学習室スポーツ振興課
	施策(節)	4	市民スポーツ・レクリエーション	連絡先				072 - 958 - 1111 内線 4412
	施策の方向	(2)	スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり					
関連する計画等								
事業の目的	対象(誰を・何を)							
	会員及び市民							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
事業の内容	市民相互の豊かな人間関係を育成し、明るいコミュニティの形成と健康の保持を図る。							
	大会の実施、参加及び市民向けの講習の実施を行い、市ならびに市教育委員会の事業に協力を行う。							
根拠法令等		スポーツ振興法						
事業開始時期		☒ 昭和 ☐ 平成 58 年 月開始 ☐ 明確にはわからない				終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化		高齢化ならびに生涯スポーツ種目の増加に伴い、会員数が増加しない。						
市民や議会の要望								
実施手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 外郭団体委託 名称 ☐ 民間委託		委託内容				

区 分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		237	240	239
人件費【2】 (千円)		252	336	168
職員数	正規職員	0.03 人	0.04 人	0.02 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		489	576	407
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	489	576	407
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
① 大会実施回数	回	7	7	8
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		69,857 円	82,286 円	50,875 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		4 円	5 円	3 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	①	会員数(人) (式)	ゲートボール協会会員数	目標	120	120	達成率(%)
				実績	119	116	96.7%
	②	(式)		目標			達成率(%)
				実績			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	生涯スポーツの振興の担い手として重要な事業であり、市の関与が必要である。
	○					○	○		○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☐	☐	☒	事業を実施する上で大きな力となっている。また、市民向けの教室、大会等を積極的に行っており、今後も継続して協働を行っていく必要がある。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☐	☐	☒	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☒	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☐	☒	
	効率性	単位コストが適切である（経年、他市比較など）	☒	☐	☐	コストに関しては適当であると考えられる。また、人員に関しても最小限で行っているため、これ以上削減する余地がない。なお、原則団体での運営を行っており、簡略化等の運営方法に関してもは団体で行っている。
		受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど）の活用について検討の余地がない	☐	☒	☐	
	有効性	上位の施策（目的）が明確である	☒	☐	☐	生涯スポーツの振興の担い手として重要な事業である。
		上位の施策（目的）への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☐	☒	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	年間1回の総会及び定例会等で、積極的に会員間での意見交換を行っている。また、行政事業に対しても積極的に参加いただいている。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	生涯スポーツの種目の増加に伴い、会員数が増加しない。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☐	☒	☐	

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	団体内での改革や会員募集などを行っており、今後も団体の活動に対して支援を行うとともに、生涯スポーツの推進を協働で行っていく。	
	今後に向けて（取組方針、具体的な改善改革案など）	
	団体活動に対して支援を行うとともに、必要に応じて助言を行っていく。	